

平成28年度 鹿児島大学歯学部公開講座 報告

西 恭宏

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 先進治療学専攻
顎顔面機能再建学講座 口腔顎顔面補綴学

公開講座メインタイトル:

「高齢者・有病者に安全な歯科医療の提供を目指して」

開催地: 宮崎市 宮崎県歯科医師会館 4階ホール
定員150名

開催日時: 平成28年9月11日(日) 13:00~17:00

受講対象: 歯科医師, 歯科衛生士, 歯科技工士

主催: 鹿児島大学歯学部

共催: 宮崎市群歯科医師会

後援: 鹿児島大学かごしまCOCセンター

はじめに

平成28年度の歯学部公開講座は、宮崎市またその隣接地で開業されている鹿児島大学歯学部同窓会の先生方を中心とした宮崎市群歯科医師会会員の協力により、隣県の宮崎市で行われた。宮崎市群歯科医師会からは、近年の社会情勢から高齢者ならびに有病者への対応に関する講演が望まれたそうで、咬合機能補綴学分野の南弘之教授が公開講座の企画、講座講師の選定を行われ、今年度の歯学部公開講座がプログラムされた。

演題と講師

1. 「口腔内細菌と全身疾患との関連性」
口腔微生物学分野 小松澤 均 教授
2. 「安心で安全な有病高齢者の歯科医療に向けて」
歯科麻酔全身管理学分野 杉村 光隆 教授
3. 「摂食嚥下機能において歯科が担う口腔機能管理と食支援」
口腔顎顔面補綴学分野 西 恭宏 准教授
4. 「鹿児島大学病院での周術期口腔機能管理と地域における口腔ケアの実践」
予防歯科学分野 山口 泰平 准教授



講座内容

今回の歯学部公開講座は、9月11日に宮崎県歯科医師会にて行われ、歯科医師48名、歯科衛生士6名の合計54名と比較的多くの参加者があった。講演は、上記の内容により4名の講師で行われたが、これらの講演に先立ち、トップバッターであり歯学部教育委員会委員長である小松澤教授より、現状の鹿児島大学歯学部について説明がなされた。内容は、歯学部現2年生から適用されている新しく改革した教育カリキュラムについての詳しい説明を中心に歯学部教育の状況が報告され、参加されている歯科医師の先生方のご子息を是非鹿児島大学歯学部に入學させていただけるように話された。

講演の内容について、小松澤教授からは口腔内細菌の現在と以前との名称変更の説明をはじめとして、近年の細菌叢のメタゲノム解析の紹介、主な口腔内細菌の特徴、誤嚥性肺炎、動脈硬化症、糖尿病など様々な全身疾患との関連について解説され、口腔内細菌の観点から体の健康について考察された。次の杉村教授からは、高齢社会到来による社会情勢変化と歯科医療のあり方から話がはじまり、高齢者の生理的老化・特徴、円滑な歯科医療を提供する上での呼吸器系や循環器系



への配慮、バイタルサインの見方、医療面接と対診の行い方についての解説がなされた。続いて西が、健康長寿の延伸を目指す今後の医療の中で、歯科医療においては摂食嚥下機能のなかでも咀嚼機能を中心とした口腔機能を評価・管理し、食事・栄養摂取の支援が行なえることについて、臨床例を呈示しながら考察を交えて話した。最後に、山口准教授より、鹿児島大学病院での周術期口腔機能管理を中心とした医科歯科連携の現状、その効果の説明がなされ、地域包括医療システムを推進するにあたり多職種連携の重要性、歯科の役割について解説された。講座後の感想として、宮崎市群歯科医師会より「歯学部は歯科医療の知の拠点として歯科医のためにそして未来の医療のために重要な位置を占めていると実感した次第です。」との感想をいただいた。

また、公開講座開始前のお昼に、宮崎市近隣の鹿児島大学歯学部同窓会宮崎支部の先生方が鹿児島歯学部教員との懇親のために、講師との昼食会を企画していただいた。鹿児島大学歯学部の学生としてご子息が在籍している先生もおられ、歯学部の昔話や現在の状況が歓談され良い交流の機会となった。

最後に、本公開講座の開催にあたり、宮崎市群歯科医師会の濱田真人 学術・医療安全担当理事、丸山寿夫 副会長、相馬博 会長に感謝するとともに、講座の司会進行をされた木田 貴先生、諸準備をなされた宮崎市群歯科医師会会員の諸先生方、鹿児島大学歯学部同窓会宮崎支部の先生方に厚くお礼申し上げます。